

安全報告書 2022

(2021年4月1日～2022年3月31日) 2022年 6月作成

株式会社 岩手ホテルアンドリゾート

(安比高原スキー場)

ご利用者の皆様へ

平素よりの安比高原スキー場に対しましてご支援に心より御礼申し上げますと共に、当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解をいただきまして感謝申し上げます。

私たちの使命は、安比高原スキー場で楽しまれる皆様に安全を提供することであり、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

また、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、当スキー場におきましては一般財団法人日本鋼索交通協会、一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会やスキーリゾート研究会が示すガイドラインに基づいて衛生管理や運営に努めてまいりました。ご来場のお客様のご理解とご協力をいただきながら、新型コロナウイルス感染予防に効果があったことについてご来場の皆様に感謝いたしております。

今後においても、全てのスタッフが安全意識を持って業務にあたり、お客様に安心されるスキー場をお届けしていく所存であります。

株式会社 岩手ホテルアンドリゾート
代表取締役社長

黒澤 洋史

■ 輸送の安全を確保する為の基本方針

私どもの経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下役職員、従業員に周知・徹底しております。

● 基本理念と方針

- ・ 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- ・ 輸送の安全に関する法令及び安全管理規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ・ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ・ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めること。
- ・ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行うこと。
- ・ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ・ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

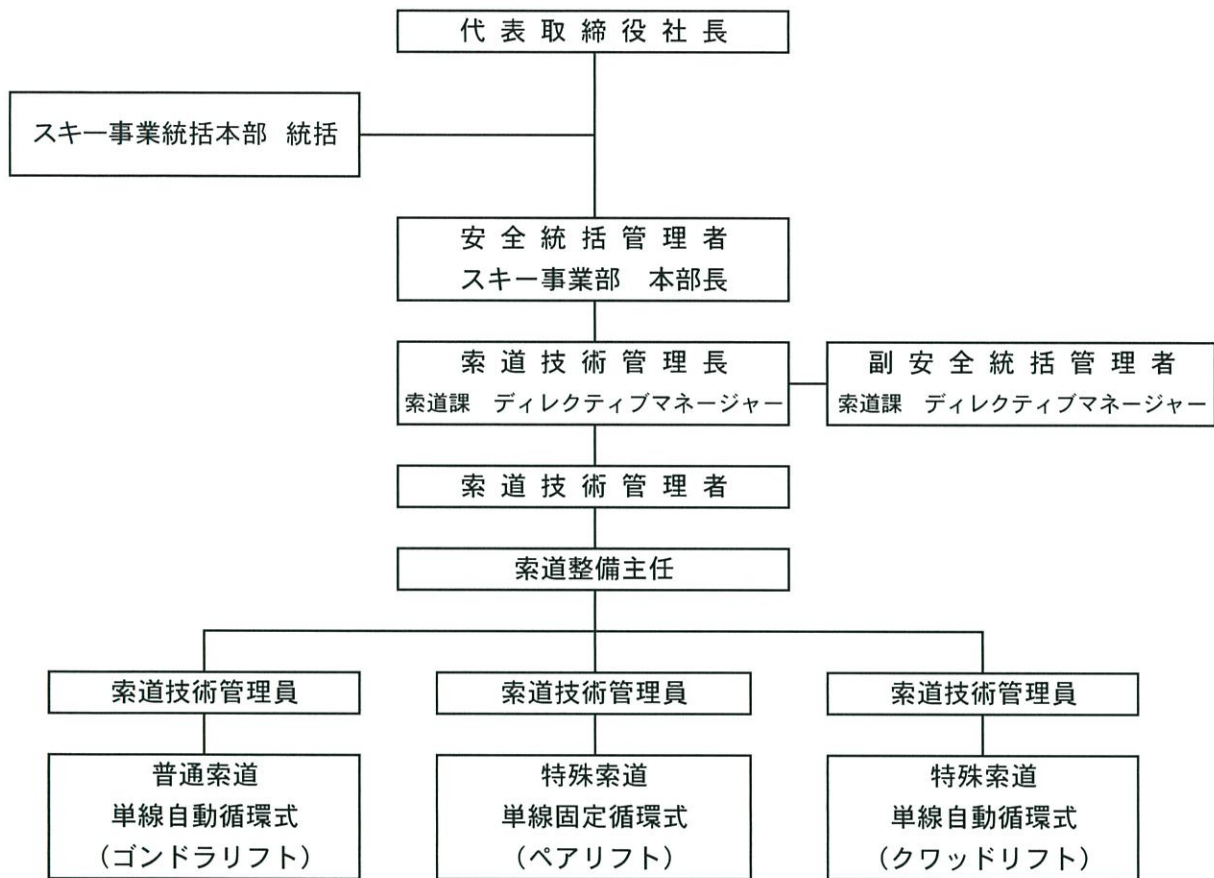
■ 輸送の安全を確保するための事業の実施及び管理の体制ならびに方法

● 輸送の安全の確保に関する組織体制

- ・ 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- ・ 社長及び役員は、輸送の安全を確保するための索道事業の実施及び管理の体制を整備するとともに、索道事業の実施及び管理の方法を定める。
- ・ 社長及び役員は、索道事業の遂行に際し、設備、運行、要員、投資、予算その他の必要な計画の策定において、次条に掲げる者その他必要な責任者に対し、安全性及び実現点からの検証を行わせる。
- ・ 社長及び役員は、輸送の安全を確保する為、索道事業の実施及び管理の状況を把握し必要な改善を行う。
- ・ 社長及び役員は、輸送の安全確保に関する改善施策の決定に際しては、安全統括管理者のその職務を行う上での意見を尊重する。
- ・ 社長及び役員は、事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態(以下「事故・災害」という)の規模や内容等に応じ、対応方法その他必要な事項を定め、従業員に周知し、徹底する。

● 安全確保に関する体制図

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
また、ヒヤリ・ハットの報告をとりまとめ、日々の業務に反映させております。



● 輸送安全確保のための取り組み

(1) 社内従業員研修

当社では、輸送の安全や皆様の安全を確保するために、シーズン営業開始前に従業員研修会や非常時に備えて救助訓練を実施しています。

◇リフト救助訓練



◇社内従業員研修会



(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、緊急時に備えてスキー場救助隊と地元消防署とのゴンドラ合同救助訓練を実施しています。

スキー場救助隊および消防救助隊双方ともにゴンドラ救助経験の無いメンバーを含んでおり、救助隊員の育成と技術の向上を目指しております。また、訓練終了後には訓練内容の反省および緊急時における連絡体制および行動について意見交換を実施しています。

◇消防署との合同救助訓練（手順の解説）



◇消防署との合同救助訓練（実技演習）



(3) 索道施設の整備

すべてのリフトについてシーズン前点検を行ったうえ、ゴンドラリフトやクワッドリフトの握索機装置関係・支柱や索受装置・油圧装置の給油や部品交換等の整備を実施しました。

自動循環式リフトのうち、安比ゴンドラでは支えい索(ワイヤーロープ)の更新工事を実施し、他のリフトにおいても電気制御機器の更新工事や規程に基づき支えい索(ワイヤーロープ)の切詰め工事を1基実施しました。

固定循環式リフトにおいても、規程に基づき支えい索(ワイヤーロープ)の切詰め工事を1基実施し、電気制御機器の更新工事についても実施しました。

全リフトにおいて満員乗車を想定した負荷(制動)試験を実施しました。

◇ 安比ゴンドラ 支えい索更新工事



(4) 検査について

索道運行開始前に始業点検を実施し、運行に支障が無い事を確認後、運行を行っています。

また、定期検査(1月・12月)を関係法令及び整備細則に基づいて実施しています。

● 輸送の安全・安心を提供する取組みについて

- ・ 東北運輸局主催の索道技術管理者研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、個別学習によるテキストの確認、課題設問への回答と提出形式で実施しました。
- ・ 東北索道協会主催のセミナー・講習会・研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で中止となりました。
- ・ スキー場の営業前に従事員研修会(緊急時の対応・ヒヤリハット・運転操作・救助訓練・安全接客)を実施し、研修会終了後の効果測定にて研修内容理解度チェックと理解不足項目については再度研修するなど教育を徹底しました。
- ・ 営業運行前に始業点検を実施し、お客様の安全が確保されていることを確認のうえ営業に入りました。また、営業中でも不具合や異常発見時は施設を直ちに休止し、必要な点検及び修繕を施し、安全確認後に営業を再開しました。
- ・ リフト乗降場ではお客様が安全に乗り降りできるように係員がサポートしました。
- ・ 気象情報は朝礼等で従事員に共通認識させ、気象の悪化時は各リフトの運行状況を確認し、適宜指示を与えて安全運行に努めました。
- ・ 東北運輸局・東北索道協会からのヒヤリハットやインシデントおよび事故情報について、ミーティングで原因と対策を詳細説明し、内容を閲覧できるようにしました。また、「安全指示簿」を作成して、従事員全員が確認印を記すことにより安全情報共有の確実化に努めました。

● 索道事故及びインシデントについて

2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の索道運転事故・インシデント等の発生状況のまとめ

- ・ 索道運転事故の発生状況
普通索道 : 索道運転事故等の発生はありませんでした。
特殊索道 : 索道運転事故等の発生はありませんでした。
- ・ インシデントの発生状況
普通索道 : インシデントの発生はありませんでした。
特殊索道 : インシデントの発生はありませんでした。

● 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ・ 21-22スキーシーズンに向けまして、一般財団法人日本鋼索交通協会、一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会やスキーリゾート研究会が示すガイドラインに基づき、当スキー場に適したものを整え営業・運営に努めました。

前シーズン同様に、スキー場の出入口を制限し、お客様には検温にご協力をいただき入場いただき、新型コロナウイルス対策についてポスターを掲示するなど協力を呼びかけました。(以下資料参照)

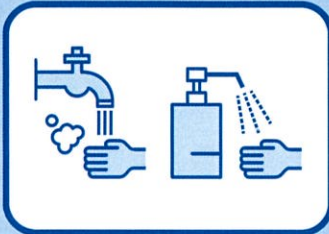
- ・ ゴンドラリフトやチェアリフトについては、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保について看板やホームページを通じて啓蒙活動に取組ました。
- ・ 従業員に対しましても、毎日の検温、手指消毒、マスク着用等について実践し、感染防止対策に取組ました。

◇ 新型コロナウイルス感染予防の啓蒙ポスター等

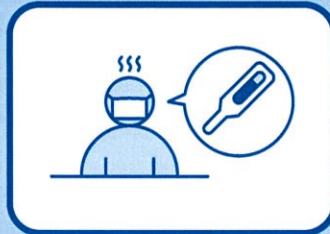


新型コロナウイルス対策について

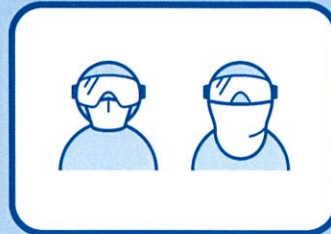
お客様へのお願い



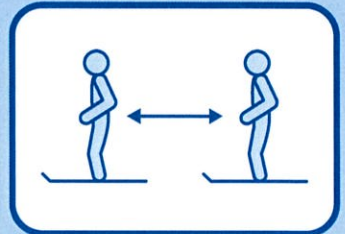
こまめな手洗い・
うがい・アルコール消毒に
ご協力ください。



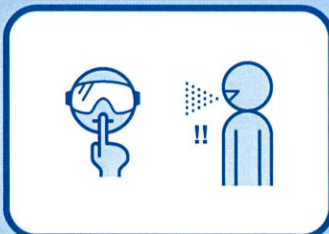
検温にご協力を
お願いします。
37.5℃以上の発熱のある方は、
施設のご利用をご遠慮ください。



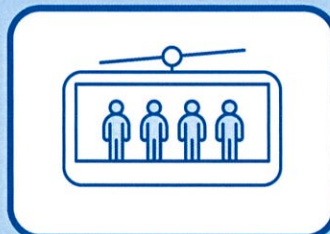
マスク(ネックウォーマー・
フェイスマスク)などの
着用をお願いします。



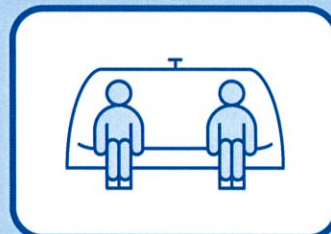
ソーシャルディスタンスの
確保をお願いします。



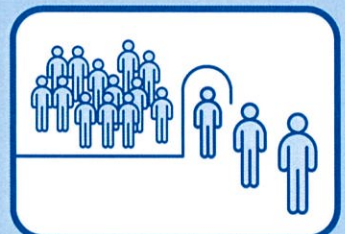
屋内・屋外を問わず
大声での会話は
お控えください。



ゴンドラの乗車人数制限
を行う場合があります。
相乗りをお願いする場合があります。



チェアリフトの乗車人数制限
を行う場合があります。
相乗りをお願いする場合があります。



施設内が
混みあっている場合は、
お待ちいただくか、
ご利用時間の分散に
ご協力ください。

その他のお願い

- ◎各精算場所では、キャッシュレスを推進しておりますので、ご利用ください。
- ◎パトロール(救護室)のご利用は、スキー場エリア内での怪我におけるの救助と応急処置のみとなります。風邪の症状を含む発熱者や、体調不良者の対応はいたしかねますので、予めご了承ください。
- ◎新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のインストールを推奨します。
BluetoothをONにした状態で入場いただきますと、万が一施設内において新型コロナウイルスが発生した場合、アプリ利用のお客様へ濃厚接触の可能性について通知があります。

新型コロナウイルス接触確認アプリ
COCOA

ダウンロードはコチラから

[Android]



Download on
Google Play

[iPhone]



Available on the
App Store

スキー場内の主な対策

- リフト券は、ICチケットによるゲート通過システムを採用しております。
オンラインによる決済にてリフトゲートへそのままお進みいただけますのでご利用ください。
※初回のご利用のみ 館内の自動発券機等でICチケットを受け取る必要があります。
- 精算を伴う場所や受付窓口などでは、飛沫感染防止のパネルを設置しております。
- 窓を開け定期的に換気を行っております。また、窓がない施設については、エアサーキュレーター等より空気を循環させております。
- 不特定多数の方が頻りに触れやすい場所は、特に徹底して消毒しております。
- レストランでは、席数制限を行っております。合わせてテイクアウトメニューを充実しております。
- スクールでは、カウンター申し込み時等に受講者本人の検温を別途実施させていただきます。
また、インストラクターはマスク(フェイスマスク・ネックウォーマー)を着用しますので、お客様も同様にご着用ください。
- レンタル用品については、使用毎にアルコール消毒を行っております。
尚、小物(手袋・帽子・ゴーグル)は販売となります。レンタル品のご準備はありませんので予めご了承ください。
- トイレが混み合っている場合は、外でお待ちください。
- 更衣室は、人数を制限しますので、確認のうえご利用ください。
- コインロッカーご利用の際は、同時に隣り合うロッカーをご使用にならないようにご協力をお願いします。
- その他の対策は、一般財団法人日本鋼索交通協会や一般社団法人日本スノースポーツ&リゾート協議会が示すガイドラインに基づいて実施します。

詳しくはコチラ



APPI

■ 「安全報告書」について

当スキー場では、お客様に安心してお楽しみいただけるよう、より一層安全な環境を提供したいと考えております。皆様からの声を輸送の安全や安心、快適に役立てたく、安全報告書へのご感想、安全への取り組みに対するご意見を頂戴できれば幸いです。

■ 連絡先

〒028-7595 岩手県八幡平市安比高原 117-1

株式会社 岩手ホテルアンドリゾート

安比高原スキー場 スキー事業部

TEL ; 0195-73-5111 FAX ; 0195-73-5842

E-mail ; lift@ihr.co.jp